

## 《前橋女子高等学校 イギリス研修 Day7 (3月14日) 報告書》

ケンブリッジ滞在 6 日目。ようやく青空を拝むことができました！グレーな空がデフォルトになりつつあったため、青空の下のケンブリッジは非常に新鮮であり、また違った景色に見えました。

研修 7 日目も皆元気に登校してきます。朝到着するなり授業準備に励む姿も見られます。クラスでの発話機会も初日に比べてかなり増えてきているようです。昨日のゲストスピーカーの話に触発された生徒も多かったようで、海外で学ぶだけでなく、働くという選択肢にも目を向け始めているようです。

昨日はファミリーに日本食をふるまった生徒たちもいました。ファミリーのお宅にあったお米を鍋で炊いて、カレーを作った本格派に、ぱぱっと温める系の効率派、どちらもファミリーに日本の豊かな食文化を体験してもらう機会になったことでしょうか。今度はホストメイトの留学生が自国料理を作ると言ってくれた家庭もあるようです。家の中でも多文化交流、かけがえのない経験ですね！

今日と明日の午後はケンブリッジ生がメンターとして 7 名プログラムにジョインします。月曜日にキャンパスツアーをしてくれた Hana さん、Gabriel さん、Laura さんの 3 名も来てくれました。意外にも緊張していた生徒たちも少なくないようですが、ファシリテーター役の Betty さんの弾丸トークで幕を開け、グループに分かれセッションのスタートです。

各グループにメンターが 1 名つき、まず彼らが自己紹介をしてくれました。名前、専攻、趣味などエピソードを交えながら話してくれます。彼らは自己表現が本当に上手い。自身の好き、嫌いも含めてアイデンティティが確立しているのだろうなと思いました。生徒たちも真剣に耳を傾けていますが、驚いたのはグループ内で会話が途切れないことです。メンターが終始会話をリードしていると思いきや、生徒から話題を提供したり、振られた話から更に話題へ展開したりと、単に Q&A のような一方通行ではない対話が生れていました。ステイ先、語学学校、毎日の通学、街の散策中の出会い、全ての経験がしっかりと力に変わっているのだと思います。もどかしさも成長の証。40 名、まだまだ伸びしろたっぷりです！

メンターからの自己紹介の後は、生徒の番となりますが、自身を表現する手段として自分自身の「Crest (紋章)」を作りました。ケンブリッジ大学のカレッジにはそれぞれの紋章があり、その一つ一つに意味があります。生徒たちは自分にとっての Crest を作り、そこに描いたものをグループ内でシェアします。何を描くのか、自分にとって大切な軸と向き合う良い時間になったのではないかと思います。そしてそれをしっかりと OUTPUT できていました。

最後、Betty さんから、「誰か、Brave な 1 人、全体の前でシェアしませんか？」の呼びかけが。一瞬空気が変わりましたが、スッと手が挙げ、唯一の機会を取りに行った生徒がいました。彼女のプレゼン、素晴らしかったです。怯んでもおかしくない状況で、堂々と「This is ME! これが私」と言ってくれたこと、圧巻でした。

周りと違ってよい、自分らしくあることに胸を張って生きることの大切さをより実感できるのも、多様性溢れる環境だからこそかもしれません。何よりも高校時代にその感覚を得ることができるのは、大きなメリットであるのは間違いありません。

さて、明日はいよいよケンブリッジでの最終日を迎えます。最後の語学研修、最後のセッション、最後のファミリーとの食事、全てに「最後」が付くところまで来ましたね。やらなかった後悔だけは残さないよう、Best of the Best な 1 日にしましょう～！



